



日本橋きみ栄  
榎若勸二郎

端唄・俗曲

振付作品発表の会

これが端曲だ  
俗曲だ

日本のレコード界で初めてのLPレコード  
《15曲振付成る》

監修：室町京之介  
振付：榎若勸二郎

●ME 5001 ●¥2,000

A 面

- 1 娘三題義太夫くずし
- 2 玉川
- 3 京の四季
- 4 きみ栄さのさ
- 5 秋の夜
- 6 茄子と南瓜
- 7 わしが国さ
- 8 どどいつ(新内伊太八入り)

B 面

- 1 槍さび
- 2 有明け
- 3 宇治茶
- 4 運動甚句
- 5 立山
- 6 青島ぶし
- 7 たぬき

三味線 日本様きみ栄

- ・ 豊寿
  - ・ 豊静
  - ・ 豊恵美
- 笛 福原由次郎  
囃子 玉澤会  
・ 榎田善三久社中

第2集《12月21日発売》MF 5002

綱は上意/水津川/淀の川瀬/さのさ/海愛寺/  
どどいつ/見伏物小屋/かっぱれ/薄墨/奴さん  
夕暮/ずばらん/新編節/吹き寄せ(ほこりた  
たき)

第3集《1月21日発売予定》MF 5003

紀伊の国/春雨/青柳/流しの枝/風の立つとき  
/どんどん節/猫じや猫じや/和藤内/潮来出島  
/紅葉の橋/御所車(香に迷う)/とちりとん/  
波の上/どどいつ

 **ポリドールレコード**  
発売元/ポリドール株式会社



生れ故郷も  
三竹筋にのせて  
残し見せませ  
江戸の芸

室町京之介監修  
日本端曲きみ栄大全集  
第一集

本日、受付ロビーにてレコードの予約を受けつけております

純邦楽レコードのヨ-ロ-堂 TEL 843 3521-5

端唄・俗曲

## 日本橋きみ栄大全集と榎若勸二郎

日本のレコード界で初めてというLPレコード全曲振付の仕事は画期的なものであり喜こんでお引受をしました。江戸端唄の第一人者であり唯一の優れた技芸を受継がれる日本橋きみ栄先生。そして伝統芸能の分野で著名な室町京之介先生の総監修であり、私共の家の総振付という今迄誰れもなし得なかつた端唄、俗曲大全集はこのたびの第一集から第十集はで実に二百曲を越える全振付譜つきであります。自然的でリスミカルで最も自由な曲調をもつ端唄は歌沢や小唄の母体であり江戸時代から広く庶民の中で愛唱され受継がれてきたのです。邦舞関係者が古典と共に小曲として端唄、小唄を舞踊曲として大いに活用していることは事実であります。そこに舞踊曲があるかぎり誰かが振付け踊られることでしょう。榎若勸二郎はこの大作にみごと挑戦したのです。全集振付という仕事は本当のところ大変な仕事です。しかし踊り上手で定評の勸二郎が舞踊振付の面でも天分優れた才能で振付師としての実力を必ずや見せてくれるでしょう。誠に楽しみな「日本橋きみ栄大全集」であります。第一作を記念しポリドールレコード会社の全面的なご協力を頂き榎若勸二郎「振付作品発表会」を催す運びとなり制作者の一人として心より厚く御礼申し上げます。

このたびの見どころ聞きどころとして勸二郎が踊ります。「たぬき」は日本橋きみ栄先生の名調子にのって必ず皆様を魅了することと思えます。「京の四季」から「たぬき」まで第一集十五曲のそれぞれの味わいをどうぞお楽しみ下さい。

榎 若 勸 助

(企画・制作)



日本橋きみ栄



◆ 番組組

午後四時開演

一 糸の四季 島田正美

一 秋の夜 榎若扇史郎

一 茄子と南瓜 榎若勸柳

一 宇治茶 榎若勸静

一 槍さびび 榎若勸以知

中村福雀  
市川左三郎

一 玉川 榎若藤之助

一 運動甚句 榎若勸柳  
榎若扇史郎

■地方

日本橋きみ栄

三味線 豊静  
豊藤  
豊寿

■鳴物

堅田喜三久  
望月 太門  
望月太喜雄  
田中 佐行  
望月 太八

■スタッフ

美術 阿部純久  
大道具 東宝舞台  
照明 東横照明部  
衣裳 市川衣裳  
かつら 酒井かつら  
小道具 市川小道具  
メイク 原多美江  
後見 根本博  
坂東又太郎  
高橋敏広  
狂言方 竹柴 榎二  
進行 樋口栄次郎

■企画・制作

榎若 勸助

■協賛

ポリドールレコード

東横劇場

昭和50年11月5日 開演四時

一 有 明 け

榎 若 勸美紗

一 五 山

榎 若 勸 静

一 娘三題義大夫(お染・お半・お七)

榎 若 勸 惠美

一 青島ぶし

榎 榎 若 若 勸 文  
榎 若 勸 柳 史郎

一 きみ栄さのさ

榎 若 勸 雀

一 わしが国さ

榎 若 勸 文

一 どどいつ(新内伊太八入)

榎 若 勸 扇

一 たぬき

榎 若 勸 二郎

監修 室町京之介

唄 日本橋きみ栄

演出 榎若 勸二郎

制作 榎若 勸助

司会 片岡みどり

